

情報処理科 3年A組

教科	商業	科目(単位)	ビジネス情報管理(4単位)	選択相手科目	原価計算
使用教科書	ビジネス情報 新訂版 (実教出版)				
授業形態	通常授業 ・ 分割授業 ・ TT				

※分割授業とは、クラスを少人数クラスに分割して授業を行うことを意味します。

※TT(チームティーティング)とは、複数の教師がチームを組んで指導にあたることを意味します。

1 科目の目標

情報通信ネットワークやビジネス情報システムに関する知識と技術を習得させ、ビジネスの諸活動において情報を管理し、共有することの意義や必要性について理解させるとともに、業務の合理化を積極的に推進する能力と態度を育てる。

2 科目の内容と授業の進め方

- ・実践的・体験的学習を通して、情報通信ネットワークの構築・運用管理及びビジネス情報システムの開発に関する知識と技術を習得する。

3 学習の方法

- ・コンピュータや情報処理に関する知識を理解するだけでなく、基本的なシステム構築や運用・管理ができるようになること目指してください。
- ・授業展開によっては、卒業作品などを作り発表してもらいます。

4 課題・補習について

- ・定期考査や学習課題の点検によって評価を行います。
- ・補習は実施しません。

5 この授業で取得可能な資格(検定試験)

- ・全商情報処理検定ビジネス情報部門1級
- ・全商ビジネス文書実務検定1級
- ・ITパスポート試験

情報処理科 3年A組

教 科	商 業	科目 (単位)	ビジネス情報管理 (4 単位)	選択相手科目	原価計算
-----	-----	---------	-----------------	--------	------

6 年間の学習計画

月	単元名	学習の内容	評価方法 (課題等)
4	1. ビジネスと情報システム (1)ビジネスと情報の管理 (2)情報システムと業務の合理化	<ul style="list-style-type: none"> 企業組織の分業形態と、部門間・業務間の情報共有の必要性を理解し、ナレッジマネジメントの必要性を認識する。 情報通信ネットワークを活用したビジネスに関する情報共有の形態と特徴について理解する。 情報通信ネットワークの構築に必要なネットワーク機器の種類と機能について理解する。 情報通信ネットワークに対する要求を分析し、ネットワークの構成、運用計画の策定など、情報通信ネットワークを設計する基礎的な方法について理解する。 ネットワークの導入に際しての設定と、セキュリティポリシーによる運用管理の目的を理解する。 経営戦略を立案するため、コアコンピタンス、SWOT 分析、バリューチェーン分析 PPM 分析などの分析手法を習得する。 売上成長率や売上構成率の計算を通して、企業の収益性や安全性などの財務情報を分析するとともに、キャッシュフロー分析などを活用する方法について習得する。 表計算ソフトウェアとデータベースソフトウェアを連携したシステム開発技法、ウェブサーバを利用したシステム開発技法を習得する。 システム開発における代表的な開発モデルの特徴について理解する。また、システムの規模や内容などに応じた開発プロジェクトマネジメントとして、プロジェクト管理、コストマネジメント、品質マネジメントの手法について理解する。 セキュリティ管理の必要性について、不正アクセスやコンピュータウイルスへの感染などがビジネスの諸活動に及ぼす影響を具体的に理解する。 <p>全商情報処理検定ビジネス情報部門1級(9・1月) 全商ビジネス文書検定1級(6・11月)</p>	行動観察 課題提出
5	2. 情報通信ネットワークの構築と運用管理 (1)情報通信ネットワークのしくみと通信方法 (2)ネットワーク機器 (3)情報通信ネットワークの設計 (4)ハードウェアとソフトウェアの導入 (5)運用管理		前期 中間考査
6	(6)ビジネス向けデバイスの活用とクラウド (7)情報通信ネットワークの構築と運用管理の実習 3. ビジネス情報システムの開発		行動観察 課題提出
7	(1)企業の経営戦略		前期 期末考査
9	(2)システム開発の手法 (3)システム開発の手順 (4)ビジネス情報システムの開発演習		
10	4. ビジネスと情報システムの課題と展望 (1)セキュリティの管理 (2)情報システムの課題と展望		行動観察 課題提出
11			後期 中間考査
12			
1			行動観察 課題提出
2			学年末考査